

# 第99代内閣総理大臣に菅義偉氏就任

～閣僚平均年齢は60.38歳、女性閣僚は2人～

まだ猛暑が厳しい2020(令和2)年8月下旬に政局は一気に動いた。戦後最長の在任期間を記録した矢先に、安倍晋三前首相が8月28日(金)突然の辞意を表明し、マスメディアは一斉に次の首相候補探しとなった。

当初、後継と目されていたのは岸田文雄政調会長であったが、党内の主要派閥である細田派、麻生派、竹下派さらには幹事長の二階氏率いる二階派が、次々と菅氏支持を打ち出し一気に菅総理誕生の機運が高まった。

そして9月8日(火)に告示された自民党総裁選挙には菅義偉、石破茂、岸田文雄の三氏が立候補し、9月14日(月)に投開票が行われた。

結果は、議員票288(73.3%)、地方票89(63.1%)、総数377(70.6%)と菅氏が圧勝した。地方党員も含めた、いわゆるフルスペックでの総裁選であれば、勝機があると言われていた石破氏であったが議員票26(6.6%)、地方票42(29.8%)、総数68(12.7%)と岸田氏の議員票79(20.1%)、地方票10(7.1%)、総数89(16.7%)と、後塵を拝する結果となった。確かに地方票では3割近い票数を得たものの石破氏の今後の首相就任は厳しいとの観測も広がっている。

今回の総裁選において特筆すべきことは、自民党総裁に選出

されてすぐに、組閣が行なわれ、翌日9月15日(火)の夜には各閣僚の名前が飛び交い、さらに翌9月16日(水)には臨時国会が召集され、首相指名が成立し、同時に新内閣が発足したことである。

それらが予想や憶測を重ねる間もないほどスピーディーに行われた。結果、閣僚平均年齢は60.38歳、女性閣僚は2人となった。2012年の第2次安倍内閣発足時の57.74歳より高く、19年9月の第4次安倍再改造内閣の発足時に比べると、1.17歳若返った。菅内閣の最年少閣僚は39歳の小泉進次郎環境相。50代が9人、60代が8人、70代が3人を占め、最高齢は79歳の麻生氏となっている。

サプライズ人事がほとんどないと評される菅内閣であるが、一方で「仕事人内閣」と称されるように、当初、安倍政権継承内閣と揶揄された様子から、徐々に変化を見せている。

特に菅首相、自らが強調しているように、縦割り行政、省庁別による予算の無駄使い、政策の効率化などに焦点を当てた「行政改革」大臣に河野太郎氏を指名。またそれらを支えるうえで必要となるメガデータの一本化を図るべく、「デジタル庁」の設置を主張し、党内一、デジタルに強いと呼ばれる平井卓也デジタル改革担当相を選んだ。この二人を中心に、就任日より様々な情報発信がなされ、ポスト安倍政権は、単なる安倍クローン政権ではなく、独自性を発信し始めている。

## 第2次安倍内閣と菅内閣の比較

第2次安倍内閣 (2012年)		菅内閣 (2020年)
57.74歳	平均年齢	60.38歳
2人	女性閣僚	2人
10人	初入閣	5人
19人	閣僚人数	21人

### 【参照】

衆議院議員 菅義偉 (すがよしひで) | 議員 | 自由民主党

<https://www.jimin.jp/member/100464.html>

菅政権公式サイト

<https://www.sugayoshihide.gr.jp/sousaisen/>

早わかり! 自民党総裁選2020

<https://www.yomiuri.co.jp/topics/20200903-OYT8T50018/>

菅政権、閣僚平均年齢は60.38歳 女性閣僚は2人

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO63918630W0A910C2PP8000/>



### 美楽からの一言

安倍政治の継承という点で、モリカケ問題、桜問題などの再検証を求める声も根強い。7年8カ月という長期政権の中、官邸に強大な権力が集中し、いわゆる「付度」政治と呼ばれる負の遺産に対して、どのように向き合い、国民に説明していけるのか。単なる継承ではない独自性を発信しつつあるがゆえに、はたしてその真贋は… 今後も目が離せない。